

視覚障害者（児）も安心して暮らし、活躍できる神戸をめざす署名運動ご協力のお願い

（視覚障害者トータルサポート事業存続に関する署名ご協力のお願い）

視覚障害者トータルサポート事業存続を求める当事者の会

ご自身や周囲の大切な人が、突然目が見えなくなり、未来に希望が持てなくなった時、今後の日常生活や仕事のことなどを安心して相談でき、アドバイスが受けられる場所が必要だと思いませんか？人間は周囲の情報の80%以上を視覚から得ると言われています。そのため、視覚に障害を受けるということは、その人の生活、人生を180度変えてしまうかもしれないくらい、大きな影響を与えます。仕事、学校、家庭、友達、趣味、社会とのつながり…多くの喪失を経験し、人生も見失ってしまう、自分に自信が持てず絶望してしまう…このような状況が容易に起ってしまう。それくらい、視覚障害になるということは大きなことなのです。そのため、私たち視覚障害者が、もう一度自分に自信を取り戻し、人生を再び歩き出すためには、とても多くの支援を必要とします。1人で悩むのではなく、できるだけ早期に専門的な相談を受け、視覚リハを開始することが、回復を支える大きな手助けになります。

神戸には、それを実現するためのとても素晴らしい事業がありました。それが、『視覚障害者トータルサポート事業』です。神戸市は、この事業をNPO法人に委託するという形で、長年にわたり実施しており、実際に多くの視覚障害者が、この事業を利用していました。そして、私たちを含め多くの当事者が、この事業に支えられ、復職を果たしたり、趣味を楽しんだり、1人での外出ができるようになったりしていました。自分のやりたいことを実現し、自分らしく生きるということを取り戻すことができているのではないかと思います。

しかし、この事業が2022年3月に突然終了してしまいました。神戸市は、この事業の後を引き継ぐ形で別の事業を開始しましたが、予算は大きく削減され、以前のような十分な支援を受けることが難しくなりました。これは、私たち視覚障害当事者にとって、とても大きな損失です。困ったらいつでも相談できる場所がある、助けてくれる人がいるという大きな安心感を失ってしまったのです。視覚障害になり、不安いっぱいでも受け止めてほしいのかわからなくなってしまった時に助けてくれたのがこの事業です。苦しい時を1人で抱えなくてよかったこと、これが、回復への一番重要なことなのではないかと思います。視覚障害者トータルサポート事業は、文字通り、トータルサポートなので、私たちが抱える様々な問題を、全部丸ごと一緒に受け止めてくれます。トータルサポート事業では、様々な専門スタッフを配置することで、仕事のことだけ、病気のことだけ、歩行のことだけ、パソコンのことだけ…というように、何か1つの問題というのではなく、どんなことでも、とにかく困ったらいつでも助けてくれるという環境を作ってくれていました。1人で悩まず一緒に考えてくれるということが、私たちの大きな支えであり、生きていくための希望です。私たちは、この素晴らしい事業を、もう一度取り戻したい、そのような思いで、今回署名活動を行うことにしました。視覚障害は、いつ、誰がなってもおかしくない障害です。病気や事故で目が悪くなっても、今までの生活を取り戻す為に必要な『視覚障害者トータルサポート事業』の必要性を私たちと一緒に考え、ご賛同いただける方は、是非裏面にご署名をお願いします。

署名活動の目的

- ・視覚障害者トータルサポート事業の復活、もしくは、同程度以上の予算を確保した新事業の実施
- ・複数の専門スタッフを継続配置できる体制の確保
- ・この活動を通して福祉全体の充実を図り、誰もが安心して暮らし、活躍できる神戸を目指す

氏名	住所

住所は都道府県名からお書きください。「同上」、「#」の表記は認められません。
必ずしも5人埋まってなくても結構です。オンライン署名との重複はできません。
皆さんからいただいた個人情報は、神戸市に提出する署名運動以外に使用することはいたしません。

(署名用紙送付先)

〒652-0802 神戸市兵庫区水木通 2-1-9 中山記念会館内 ホットポット KOUBE の会
中山記念会館 1 階にある署名用紙受付ポストに入れていただいても結構です
オンライン署名も可能です。下記 QR コードをご利用ください。ただし署名用紙への直接署名と重複し
ての署名はできません。どちらかをお選びください。

(お問い合わせ)

視覚障害者トータルサポート事業存続を求める当事者の会

代表 赤堀 浩敬(ひろのり) 090-5094-8735

(協力団体)

ホットポット KOUBE の会(はたらく視覚障害者の会)、神戸市視覚障害者福祉協会、
兵庫県網膜色素変性症協会、中山視覚福祉財団、神戸アイライト協会
NEXT VISION(神戸アイセンター ビジョンパーク運営管理)



視覚リハ(視覚のリハビリ) について

視覚障害になると見えない、見えにくいことで歩行や読み書きなど多くの困難が生じます。困難を
改善する取り組みが視覚のリハビリである視覚リハです。正式には視覚リハビリテーションまたは視
覚障害リハビリテーションといいます。IT 機器・ロービジョン用具の練習、歩行訓練士(歩行等の視覚
リハの専門家)による歩行訓練などがあります。

視覚障害者トータルサポート事業とは

訪問歩行訓練などの視覚リハ事業を多くの政令市では早くから歩行訓練士等を配置して実施され
ていました。神戸にもそのような事業が必要ということで視覚障害者トータルサポート事業という名
称で2008年からNPO法人に委託して始まりました。重篤な眼科患者さんからの相談にも迅速に対
応できるように委託先ではロービジョンルームを整備し相談電話対応のピア看護師、視能訓練士、複
数の歩行訓練士、IT 相談員を計 6 名以上配置しました。2021 年 10 月新築の中山記念会館では複
数の相談対応可能な3倍の 75 m²に拡張したロービジョンフロアもできました。事業拡大も期待されて
いましたが、2022 年 3 月にまさかの事業終了でした。

2023 年 4 月